



みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第10号 平成18年2月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



硯石池の自然観察会 & 保全活動体験（1月24日開催）

- ・地域住民の皆さんと一緒に硯石池を観察
- ・みんなと一緒に保全活動

地域住民の皆さんと一緒に硯石池を観察

1月13日に行った硯石池の自然環境を保全するための話し合いを踏まえて、地域住民の皆さんに呼びかけて「硯石池の自然のすばらしさ」と「保全活動の必要性」を知っていただくための**硯石池の自然観察会 & 保全活動体験会**を開催しました。

開催日当日は、硯石池が全面結氷するほどの寒さがやってきました。周りの田んぼでは、美しい霜柱が広がる身が引き締まる冷え込みの中、観察会を行いました。

自然観察会は、硯石池周辺の自然に詳しい成瀬亮司さんから説明を頂きました。硯石池を取り囲む小さな水田では現在も稲作が行なわれており、稲作に伴う水路の管理、畔の草刈り等の手入れが行なわれています。このような昔ながらの農業活動が、多種多様な動植物の生息環境を維持している要因であると説明されました。この硯石池周辺の水路や畦道には、現在ではあまり見ることができなくなった貴重な草や生き物が生息しているそうです。しか



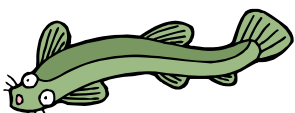
霜柱が出来ていました。



全面結氷した大洞・硯石池



みんなで生き物の生息場になる水路や畦を観察



し、岐阜市全体で見るとそのような生物、また、そのような生物が暮らせる環境はどんどん減少しています。



地域の方々と一緒に保全活動

観察会が終わった後、どのように保全活動を進めていけばよいのか、草刈、柴刈りなどの方法について説明を受けて、参加者みんなで保全活動の体験をしてみました。活動を行った場所は、昔は稲作が行なわれていましたが、現在は休耕され、灌木が茂り藪状になりつつあるかつての棚田でした。このような場所は、このまま放置すると、**たくさんの生き物の生息場である湿地**の乾燥化が進み、

いずれは生息する生き物の数が減少することになってしまいます。

そのため、参加者で灌木の伐採、草刈、枝・刈草などの運搬などを行い、藪状態からの脱出を試みました。すると！！下の写真のように、わずか2時間程度で、藪になっていた田んぼが、きれいに奥まで見通せるようになりました。このような作業をすることで、来春の芽吹き

の時期に、今までになかった光景がこの洞に広がるのだと思います。ですが、このような活動を行わなければならない場所はこの硯石池の周辺だけでもまだたくさんあります。今後、地元の皆さん、地権者の方、本当に多くの皆さんの協力を進めながら、大洞の自然環境を見つめていきたいと思います。



保全活動



おわりに

体験会は硯石池の自然環境を理解しながら、保全活動を行うことが出来ました。今後、徐々にではありますが**地域住民の皆さんと協働で保全活動を進めていきたい**と思います。今後も硯石池の自然を守るためご協力を宜しくお願いします。

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html

